

学力と社会性を身につける  
『6年一貫コース』独自の行事



▲月1回開催される「社会人講座」。「中1のときアナウンサーの八木さんの話を聞きました。ステージで原稿を読ませていただき、いい経験になりました」(中2・Mさん)

▶8月と3月に開催される学年合同の勉強合宿。「早朝から深夜まで勉強つめの生活を頑張れたのは仲間と一緒にだったから。家庭学習の方法も学べました」(中3・Uくん)。



◀『6年一貫コース』の全学年で夏は京都大学、秋は大阪大学と大阪大学附属病院を見学。「中1のときに訪れた京都大学の広さにびっくり。学生から大学の話を聞くのが楽しかったです」(中3・Uくん)



▲中2の5月に、岡山県国立吉備少年自然の家で行われる、3泊4日の『サバイバルキャンプ』。「食事の支度からオリエンテーリングまで、仲間と知恵を出し合いました」(中2・Oくん)



▶社会見学の一つとして実施される、中1の『地下鉄オリエンテーリング』。グループ別に計画的にすすめていく。「一人ひとり歩くペースも違い、意見が一致しないときは話し合いながらポイントクリア。初めて歩いた駅周辺の古い町並みは感動的でした」(中2・Mさん)



◀生徒自ら運営する『文化祭』。演技の部と展示の部に分かれ、演技の部ではクラス対抗の合唱コンクールを開催。みんなで選曲からアレンジまでアイデアを出し合い、グランプリ獲得に向けて練習を重ねる。一方、展示の部は中1が学年全体で、中2はクラスごとに展示物を制作。今年は“復興”がテーマ。



▲プレゼンテーション力やコミュニケーション力を磨く『自分プロジェクト』のチーム学習。「壁新聞を作ったときは、学校を訪れた保護者や町行く人にインタビュー。初対面の人に話を聞くのは勇気が必要でしたが、勉強になりました」(中2・Oくん)

“実行から学べ”  
失敗や成功を積み重ね  
体力・精神力・  
自主性を養う

新私学百景  
【四條畷学園】



12月に、くろんど園地キャンプ場で実施される『耐寒オリエンテーリング』。中1～中3の縦割り班で制限時間内にできるだけ早く、多くのポイントを回る。子どもたちは数々のハプニングに遭遇したり、失敗したりしながら学び、成長する。

TOPIC

さまざまな体験が  
未来を切り拓く糧に!

『6年一貫コース』には、『自分プロジェクト』と称し、夢や目標を実現する力を育てる独自の行事が盛りだくさん。まず、中1の入学合宿では、先生の話聞いて書き取ることを目標とします。月1回の『社会人講座』や中1～中3合同による『勉強合宿』『大学訪問』も実施。中2のOくんは「『社会人講座』で大阪大学医学部の吉川秀樹教授の“今すべきことは後に回さない”という言葉が心に残った」と、大阪大学附属病院を見学した中2のMさんは「リハビリテーション室で数々の器具を体験させてもらい、最新医療の設備に感動した」と話します。



▲中1・中2の希望者による12月の志賀高原での『スキー教室』。「コーチに基礎から教えてもらえるので上達が実感しやすい。友だちと励まし合いながら頑張ります」(中2・Oくん)

チェック。食器をキレイに洗い、先生のOKが出るのはかの班を手伝うなど、自然に他者への気配りもできるようなります。失敗や成功などの体験を重ね、そこから何かを体で学びとる生徒の姿は、実行から学べ”という同校の教育方針そのものなのです。

「難関公立・有名私立高校への進学をめざす『3年コース』と、人間力と学力を6年間でじっくり養い、夢の実現に近づける『6年一貫コース』を設置する同校。『実行から学べ』を教育方針の一つとし、さまざまな行事に取り組んでいます。

「インターネットやゲーム上での人づきあいはできても、実際にコミュニケーションをとるのは苦手だという子どもが増えています。そのため本校では、多くの行事を通してコミュニケーション能力を高め、かつ体力や精神力、自主性を培っています」

(広報企画部長・小林克彦先生)

さまざまな行事の中でも中1、中3の縦割りで行う、12月の『耐寒オリエンテーリング』は、先輩が後輩をサポート。助け合い、いたわり合いながら体力やペース配分を考え、実社会で必要な協調性や問題解決力を学びます。

中1時の『地下鉄オリエンテーリング』は、4～5人のグループで大阪市内の史跡を回ります。自分たちでスケジューリングをし、多くのポイントクリア。行く先々で人とふれあい、社会人としての常識やマナーを身につけていくのです。

中2時の『サバイバルキャンプ』では、野外炊飯が7回もあり、準備から後片づけまで先生が徹底